

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No.B-2

部門名： 働き方改革実践部門	エントリー名： 福岡県立鞍手高等学校 長尾 俊太郎 平成 3 0 年度第 5 回中堅教員研修。
活動名： 広報業務の効率化・活性化 ―組織改編及び分掌間の協働をととして―	
解決すべき課題 少子化による中学生数の減少、私立高校への進学者の増加により、年々、入学者選抜における志願倍率が低下している。志願者数確保のためには、広報活動の充実と広報方法の工夫が必要である。しかしながら、昨年度までの広報課の業務は組織的な対応がなされず、業務の偏りや仕事の属人化が見られた。その結果、新しい発想は生まれにくく、企画は前年踏襲という状況であった。	
目標・方針 目標 令和 2 年度入学者選抜(一般入試)において平成 3 1 年度の志願倍率を上回る。 方針①分掌組織を改編し、新しく企画部を立ち上げ(図 1 赤)、その中に、従前、教務部にあった広報課を組み入れる(図 1 緑)。 ②特色化推進部を新たに設け、本校の特色化を推進するとともに本校の特色を広報する。(図 1 青) ③昨年度まで広報を担当していた教務部は、業務を円滑に引き渡すとともに積極的に支援を行う。 計画 平成 3 0 年度末、分掌を再編成し、平成 3 1 年度から新たな体制でスタートする。	
活動内容：活動内容 ★は、新企画または企画内容を刷新した取組。 下線部は、教務・企画・特色化推進部の協同企画。 ※は企画の工夫点。 ・4 月 ★鞍手高校ポスターの作成(広報課) 図 2 ※大胆なレイアウトで中学生の興味をひくとともに、行事日程を載せ、中学生の観覧を促す。 ・7 月 ★「学校案内」完成(広報課) ※在校生の声や生き生きとした写真を多く掲載。デザインをスマートフォンの画面形式にしている。 ・7 月 ★「鞍手高校オープンスクール」の企画・運営(教務部&広報課&特色化推進部) ※従来から要望の多かった、夏休み期間中のオープンスクールを実施。 図 3 ・7 月 中学生進路相談事業の企画・運営(教務部&広報課&特色化推進部) ・8 月 ★「鞍手高校アクセスマップ」の製作(教務部)※本校の交通アクセスのよさをアピールする。 図 4 ・9 月 鞍高見学会(中学生体験入学)の企画・運営(教務部&広報課&特色化推進部)	
活動の成果 ① 広報活動の重要性を職員全体が共有するようになった。 ② ミドルリーダーによる広報活動への積極的な取組が行われた。 ③ 企画部・特色化推進部・教務部が協働して取り組む体制が生まれ、業務の偏りや属人化を改善できた。	
アピールポイント (アイディアや工夫) ① 広報業務に対し全ての職員が参画意識を持って取り組んだため、業務の偏りがなくなった。 ② ミドルリーダーのアイディアによる新しい取組が生まれた。	

図 1

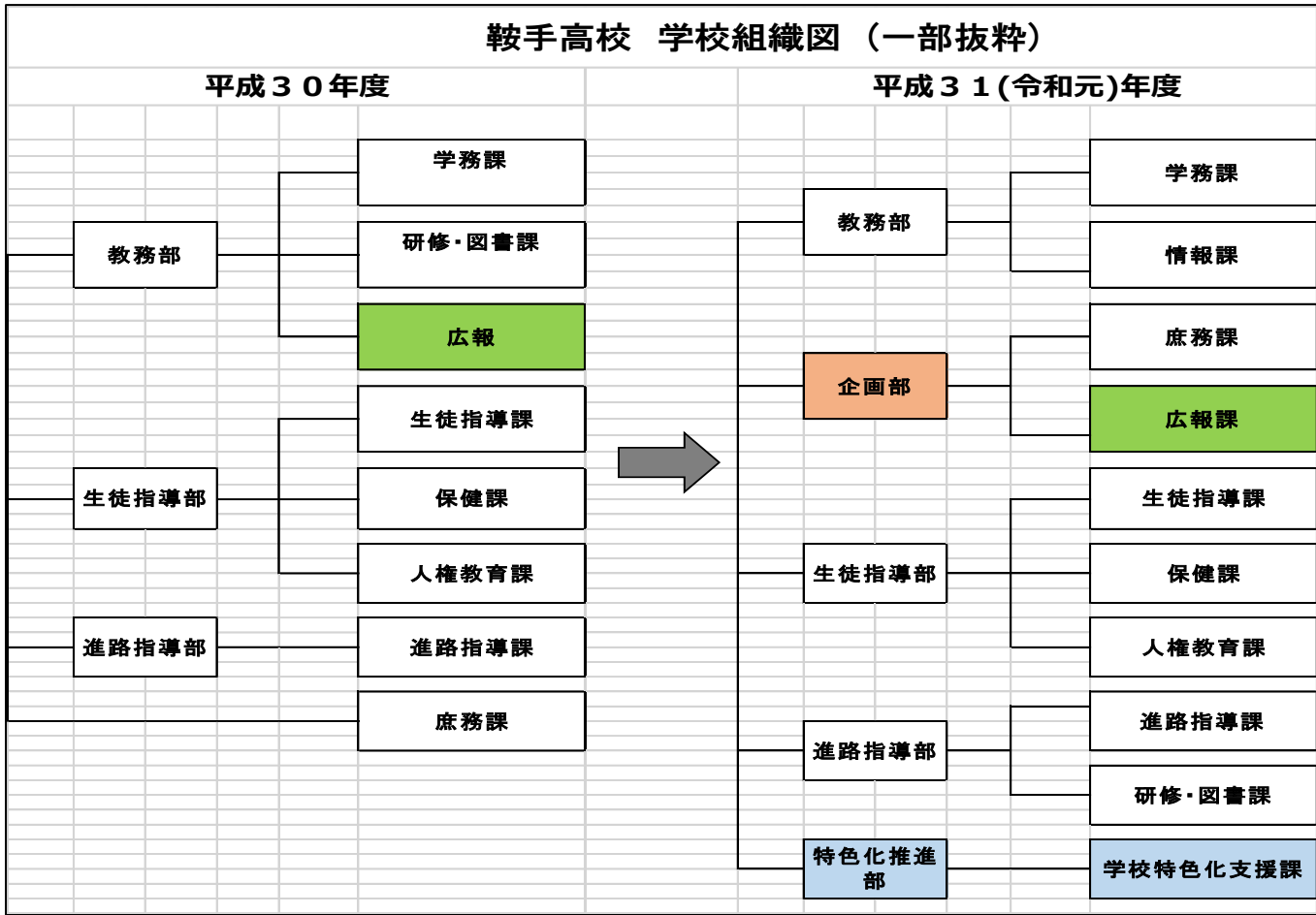


図 2



図 3



図 4

